

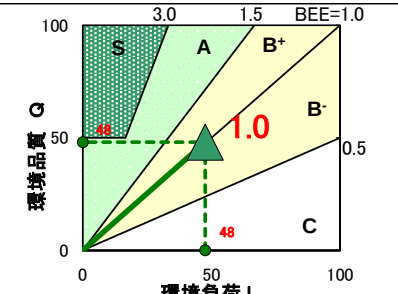
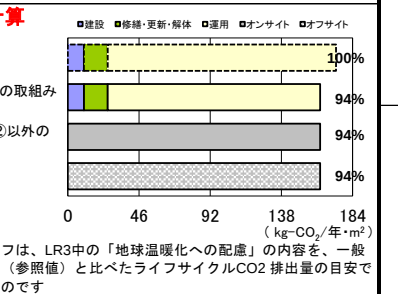
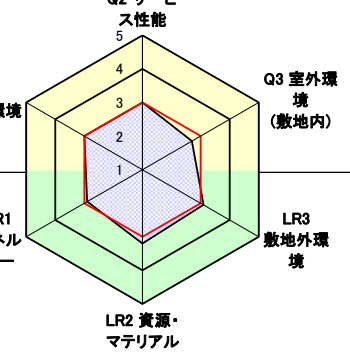
CASBEE®広島

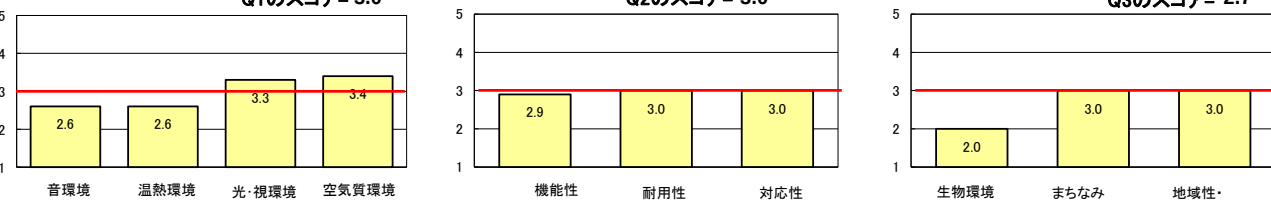
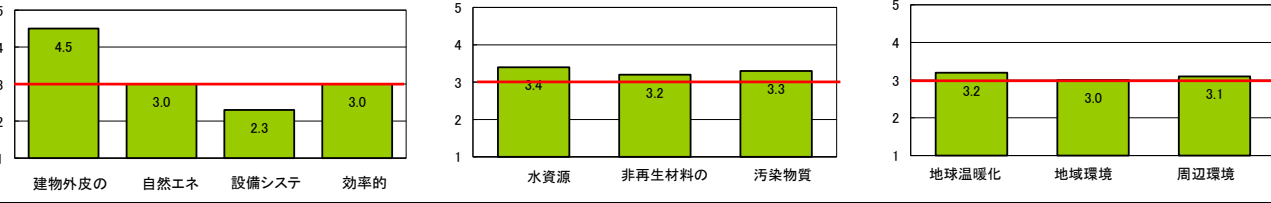
■使用評価マニュアル: CASBEE 広島 2016年版

(使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0))

評価結果

1-1 建物概要			1-2 外観	
建物名称	(仮称)広島東荒神町介護施設新築	階数	地上10F	
建設地	広島県広島市南区東荒神町252-1	構造	S造	
用途地域	近隣商業地域、商業地域、防火地域	平均居住人員	101 人	
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)	
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価	
竣工年	2024年8月 予定	評価の実施日	2023年5月7日	
敷地面積	903 m ²	作成者	大和ハウス㈱	
建築面積	588 m ²	確認日	2023年5月8日	
延床面積	4,319 m ²	確認者	大和ハウス㈱	

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)		2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)		2-3 大項目の評価(レーダーチャート)	
BEE = 1.0 S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★ 		標準計算 30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆ 100%: ☆☆☆ 100%超: ☆ ①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+ 			

2-4 中項目の評価(バーチャート)	
Q 環境品質 Q1 室内環境 Q2 サービス性能 Q3 室外環境(敷地内) Q1のスコア= 3.0 Q2のスコア= 3.0 Q3のスコア= 2.7 	
LR 環境負荷低減性 LR1 エネルギー LR2 資源・マテリアル LR3 敷地外環境 LR1のスコア= 2.9 LR2のスコア= 3.2 LR3のスコア= 3.1 	

3 広島市の重点項目		
重点項目の総平均スコア= 3.0		
「地球温暖化対策」の推進	「ヒートアイランド対策」の推進	「長寿命化対策」の推進
スコア= 3.1	スコア= 2.5	スコア= 3.1
設計の計画上位段に配慮した事項 BPI=0.85 / / / / 自動水栓に加え、節水型便器を採用 LGST地を採用 / LCCO2排出率=94%	設計の計画上位段に配慮した事項 /	設計の計画上位段に配慮した事項 給水管: VLP、排水管: VP、通気管: VP / 電気配線は ケーブルラック配線を採用

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される